

# 総務委員会資料

第99号議案

令和3年度 島根県一般会計補正予算(第6号)[関係分]

令和3年9月30日・10月1日

令和3年度 9月補正予算の概要 【議会事務局】

(単位:千円)

事業名	補正前額	補正額	補正後額	概要
予算総額	970,594	22,637	993,231	財源 県 22,637
議会費	725,207	4,001	729,208	
1 議員報酬	496,131	8	496,139	特別職(議員) 35人
2 全国議長会事務費	8,491	0	8,491	
3 議事運営事務費	220,585	3,993	224,578	議員出退表示システム整備 [債務負担 R4~R8 32,897千円](議員出退表示システム整備)
事務局費	245,387	18,636	264,023	
4 一般職給与費	180,757	18,636	199,393	一般職 22人
5 政務調査事務費	1,970	0	1,970	
6 議会広報・広聴事務費	29,921	0	29,921	
7 議事堂別館運営費	18,135	0	18,135	
8 事務局運営費	14,604	0	14,604	

# 議員出退表示システム整備事業

## 1. 現 状

議員の出退状況については、平成9年度に整備した機械式の出退表示盤を使用して表示していたが、整備から20年以上が経過し老朽化が進んでおり、近年は電源部等の故障が頻発していた。

このたび、出退表示盤のメインとなる基盤が故障したが、交換部品がメーカーにもなく修理が不可能な状態となったため、緊急に新たな出退表示盤を整備する必要が発生した。

## 2. 調達するシステムについて

	機械式（現行）	WEBシステム
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・構造がシンプルで故障が少ないため、保守業務は不要（故障時にはスポット対応）</li><li>・耐用年数が長い（20年前後）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業員が比較的安価（機械式の半額以下）</li><li>・工期が短い（契約後2か月程度）</li><li>・改選時、議長交代時等のカスタマイズが容易</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業費が高額</li><li>・オーダーメイドで機械を製作するため、工期が長い（契約後半年以上必要）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・機械式に比べ故障が多い</li><li>・モニター等の機器の耐用年数が短い（5年程度）</li></ul>

### WEBシステムを採用する。

#### （1）理由

- ・早急な整備が必要であり、契約後、短い工期で構築できる。
- ・機械式と比較して、事業費が安価。

#### （2）現行の出退標示盤からの変更点

- ・行政LAN及びオープン基盤を活用する。
  - …議会棟は、既設の行政LANケーブルを使用するため、配線経費を縮減できる。
- 行政PCで議員の出退状況を確認可能となる（追加経費不要）。

#### （3）デメリットへの対応

- ・機器の耐用年数は5年程度ではあるものの、全ての機器が5年で使用不能となる訳ではないこと。また、契約期間終了後は延長契約について業者と協議することを考えており、機器の再リースによりリース料を低減させることで、将来的な負担を低減させる。

## 3. 予算額

【令和3年度予算】 3,993千円（一財3,993千円）

【債務負担行為】 令和4～8年度 総額32,897千円